

## 平成27年度日本道路協会会長奨励賞 表彰式

平成26年度より、自らの創意工夫を加え、その後の業務遂行に多大な成果をあげた若い技術者を表彰し、道路技術の進展に寄与することを目的として「日本道路協会会長奨励賞」を新設いたしました。

各関係機関を通じて候補者の募集をしたところ、13件の応募があり、平成27年度の実賞者は以下の方々に決定いたしました。

6月10日、第70回定時総会終了後、表彰式を行い、大石会長より表彰状を授与いたしました。



丹野 大輔氏（東日本高速道路株式会社）

功績：除雪車両の現在位置をGPS車両位置管理システムにより把握し、視界不良の中でも、あるいは、除雪オペレーター個人の技術に依存しない除雪オペレーターアシストシステムを開発し、安全で効率的な除雪作業の実施に多大な貢献をした功績が評価されました。

谷 和博氏

間嶋 信博氏（阪神高速道路株式会社）

功績：松原JCT建設工事は人口密集地等に隣接する施工条件の非常に厳しい工事現場であったが、地域住民や多方面の関係者との密接な協議・調整に尽力され、工事を円滑に実施された功績が評価されました。



向井 祐輔氏

藤川 和哉氏

横田 正一氏

小役丸 治男氏（京都市）

（向井氏が代表で出席いたしました）

功績：「人が主役のまちなか道路」整備事業においては、自動車運転者に注意を促すよう、交差点内にカラー舗装、交差点の手前に小舗石舗装を施し、京都府警と連携し、歴史的地区内の信号をすべて撤去し、信号のない「人が主役のまちなか道路」を完成させた功績が評価されました。

